

第4次静岡市食育推進計画中間評価と目標見直し（案）及び第5次食育推進基本計画の目標との比較

第4次静岡市食育推進計画(R6～R12)							達成状況 ◎:達成 ○:改善 →:横ばい (±5%以内) ▼:悪化	目標・目標値見直し(案)		●:同一 ○:類似 →:市独自 ※:出典同一	第5次食育推進基本計画における目標・指標・目標値 R7～R12		
目標 No.	目標	対象	現状値 (令和4年度)	中間値 (令和8年度)	増減	目標値 (令和12年度)					指標 (※国の値は対象が異なるため参考値)	現状値 (令和7年度)	目標値 (令和12年度)
1	食育に関心を持つ若い世代の割合	20～30歳代	58.7%	68.7%	10.0%	85%以上	○		現行維持	●	食育に関心を持っている国民の割合	79.1%	90%以上
2	食に関する情報を得るために行動をする若い世代の割合	20～30歳代	46.3%	63.0%	16.7%	80%以上	○		現行維持	―			
3	毎日1回以上家族や友人等と一緒に食事をする市民の割合	中学生～84歳	66.8%	77.9%	11.1%	85%以上	○		現行維持	●	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数	週8.6回	週10回以上
4	食事を一人で食べる子どもの割合（朝食）	学童期（6～12歳）	9.5%	15.5%	6.0%	8.5%以下	▼		現行維持	―			
5	食事を一人で食べる子どもの割合（夕食）	学童期（6～12歳）	2.9%	3.1%	0.2%	2.5%以下	→		現行維持	―			
6	朝食を欠食する若い世代の割合	学童期（6～12歳）	4.2%	2.3%	-1.9%	0%	→	5%以下	【国整合】国の第5次計画目標「5%以下」は既に達成。「0%」は目指す姿として掲げつつ、目標値は国と同一の「5%以下」を基準とする。	●	朝食を欠食する子供の割合	6.4%	5%以下
		思春期（13～19歳）	17.2%	19.8%	2.6%	0%	→	5%以下	【国整合】国の第5次計画目標「5%以下」は既に達成。「0%」は目指す姿として掲げつつ、目標値は国と同一の「5%以下」を基準とする。	―			
		20歳代	29.9%	50.4%	20.5%	25%以下	▼		現行維持	●	朝食を欠食する若い世代の割合	28.2%	25%以下
		30歳代	22.3%	29.5%	7.2%	20%以下	▼		現行維持	―			
7	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている市民の割合	中学生～84歳	49.3%	51.9%	2.6%	60%以上	→		現行維持	●	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている国民の割合	36.1%	45%以上
8	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている若い世代の割合	20～30歳代	34.9%	30.6%	-4.3%	50%以上	→		現行維持	●	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている若い世代の割合	23.8%	30%以上
9	1日あたりの食塩摂取量の平均値（※国民健康・栄養調査（全国値）を引用）	20歳以上	10.1g	9.6g	-0.5g	8g以下	→	7g（R14）	【国整合】国の第5次計画目標「7g」との整合を図る。ただし国の目標年度はR14であり、R12時点では7gへの接近を目安とする。	※	1日あたりの食塩摂取量の平均値	9.6g（R6）	7g（R14）
10	1日あたりの野菜摂取量の平均値（※国民健康・栄養調査（全国値）を引用）	20歳以上	280.5g	258.7g	-21.8g	350g以上	▼	350g（R14）	【国整合】中間値は減少傾向だが、国と同一の目標値とし引き下けない。	※	1日あたりの野菜摂取量の平均値	258.7g（R6）	350g（R14）
11	1日あたりの果物摂取量の100g未満の市民の割合（※国民健康・栄養調査（全国値）を引用）	20歳以上	61.6%	-		30%以下	未	1日あたりの果物摂取量の平均値200g(R14)	【目標変更・国整合】国の指標に合わせ目標変更。	※	1日あたりの果物摂取量の平均値	78.1g（R6）	200g（R14）
12	女性のやせ（低体重：BMI18.5未満）の割合	20～30歳代	15.3%	12.6%	-2.7%	15%未満	◎	15%未満維持	【維持】やせの割合体格の個人差から一定割合は存在するため、達成後の引下げは行わない。現状値との差は±5%内で再上昇の余地もあり、健康日本21の目標とも同水準。	―			
13	高齢者のやせ（低体重：BMI20以下）の割合	65歳以上	22.8%	22.9%	0.1%	17%以下	→		現行維持	―			
14	生活習慣病予防や改善のために、適切な食事や定期的な運動を継続して実施している市民の割合	中学生～84歳	66.1%	60.5%	-5.6%	75%以上	▼		現行維持	●	生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に気をつけた食生活を実践する国民の割合	63.2%	70%以上
15	定期的に歯科健診を受診している市民の割合	中学生～84歳	57.5%	61.3(R7)	3.8%	85%以上	→	過去1年の間に歯科医院に行った市民の割合・78%	【目標変更】受診実態をより的確に把握できる。変更に伴い現状値・目標値は再設定。70.1%(R7)	―			
16	ゆっくり噛んで味わって食べるなど食方に関心のある市民の割合	中学生～84歳	39.9%	46.1%	6.2%	45%以上	◎	50%以上	【上方修正】目標を達成したため。国と同一指標であり引上げ幅（約5ポイント）を国と揃えた。	●	ゆっくりよく噛んで食べる国民の割合	46.2%	55%以上
17	食育の推進に関わるボランティア団体等において活動する市民の数	18歳以上	1,412人	532人	-880人	1,500人以上	▼	600人以上	【基準再設定】減少は「営農ボランティア」の計上方法変更（保険台帳登録者→実活動者数、R4:980人→R8:255人）が主因と確認。目標（1,500人）とは比較不能のため中間値532人を新基準とし、食生活改善推進員の養成（年約20人）等による増加を見込み600人以上とする。	●	食育の推進に関わるボランティア団体等において活動している国民の数	30.3万人（R6）	31万人以上
18	農林漁業体験をしたことがある市民の割合	中学生～84歳	31.9%	25.7%	-6.2%	40%以上	▼		現行維持	●	農林漁業体験を経験した国民（世帯/本人）の割合	57.1%・45.5%	60%以上・50%以上
19	地元（静岡市）で生産されたものを日頃から購入するようにしている市民の割合	18歳以上	20.8%	19.7(R7)	-1.1%	30%以上	→		現行維持	―	産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ国民の割合	66.0%	70%以上
20	環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ市民の割合	中学生～84歳	44.7%	53.0%	8.3%	65%以上	○		現行維持	●	環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ国民の割合	57.1%	60%以上
21	食品ロス削減のために行動をしている市民の割合	中学生～84歳	61.2%	75.5%	14.3%	75%以上	◎	80%以上	【上方修正】目標を達成したため。国と同水準（80%以上）とする。	●	食品ロス問題を認知して削減に取り組む消費者の割合	77.2%	80%以上
22	地域や家庭で受け継がれた伝統的な料理や作法などを継承している市民の割合	中学生～84歳	28.2%	47.4%	19.2%	35%以上	◎	55%以上	【上方修正】目標を達成したため。国と同水準（55%以上）とする。	●	地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えている国民の割合	48.8%	55%以上
23	郷土食・伝統料理を月1回以上食べている市民の割合	中学生～84歳	-	39.4%	-	30%以上	◎	45%以上	【上方修正】目標を達成したため。引上げ幅（約5ポイント）を国と揃えた。	●	郷土料理や伝統料理を月1回以上食べている国民の割合	54.7%	60%以上
24	茶葉から入れた緑茶を飲む市民の割合	中学生～84歳	40.8%	47.6%	6.8%	60%以上	○		現行維持	―			
25	食品の安全性について基礎的知識を持つ市民の割合	中学生～84歳	63.9%	63.7%	-0.2%	70%以上	→		現行維持	●	食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する国民の割合	68.6%	75%以上
26	栄養バランスに関わる食育を、栄養教諭・栄養士を活用して実施した学校の割合	全公立小中学校	71.9%	94.3(R7)	22.4%	100%	○		現行維持	―	栄養教諭による地場産物等に係る食に関する食に関する指導の平均取組回数	月14.1回	月15回以上
27	学童期や思春期に関わる食育を実施した学校の割合	全公立小中学校	65.9%	80.5(R7)	14.6%	80%以上	◎	栄養教諭による地場産物等に係る食に関する指導の平均取組回数・月15回以上	【目標変更・国整合】目標を達成したため。国の指標と整合。	―			
28	食べ残しや食品ロスに関わる食育を、学校給食と関連させて実施した学校の割合	全公立小中学校	68.6%	82.9(R7)	14.3%	80%以上	◎	学校給食における地場産物を使用する割合（金額ベース）を現状値(令和7年度)から維持向上	【目標変更・国整合】目標を達成したため。国の指標と整合。目標値は現状値を算出後設定。	―			
No.19静岡市農業振興計画と照合した結果、令和4年現状値21.0%を20.8%に修正、中間値は令和7年度調査結果の値。											学校給食における地場産物を使用する割合（金額ベース）を現状値（令和7年度）から維持・向上した都道府県の割合	―	90%以上
											学校給食における国産食材を使用する割合（金額ベース）を現状値（令和7年度）から維持・向上した都道府県の割合	―	90%以上
											地域等で共食したいと思う人が共食する割合	70.1%	75%以上
											推進計画を作成・実施している市町村の割合	92.9%	100%